
金獅子転生人生録

只野飯陣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

金獅子転生人生録

【Nコード】

N9631Z

【作者名】

只野飯陣

【あらすじ】

順応性抜群(?)なオリ主がモンハン世界でてんやわんやと生きていく話し

転生して（前書き）

書いてしまった……

作者もどうなるか解らない完全な見切り発車ですが何卒宜しくお願
いいたします

転生して

「…………え？」

目覚めて最初に見たのはほんのり赤い謎の空間だった。

上も下も無い不思議な空間を漂いながらここに来た経緯を思い出そうとするが、どうにも思考に靄が掛かり思い出すには至らない。

そもそもこんな謎の空間には普通来れないだろうが、俺自身が此処にいるのが何よりもの証明だ、連れられてか自分でかは解らないがどうやってか俺は此処に来た筈だ。

「驚異的な順応性だね、騒ぐでも混乱するでも無く淡々と現状の分析を始める何てさ」

と、思考の海に潜っていた俺を引き上げたのはやけに高圧的なシヨタボイスだった。

「…………？…………気のせいか」

だが辺りには誰もいない、気のせいと断じて俺はまたこの空間について考察を巡らそうと瞑目した。目が痛いのだ、極彩色で。

「いやいや、気のせいじゃないよ、てゆうかこの状況なら解るんだろ？」

また、何処からか声が響く。

俺は深く深くため息を吐き出しその声に答える事にした。

「ああ…………つまりあれか、お前は神かもしくは神に準ずる何かで、

チートで転生か」

まあ一番解りやすいだろう。

こんな謎現象それ以外では説明できない。

「うん、行って貰うのはモンハン世界、因みに書類ミスとかじゃなく故意で殺したから、神がんなミスするわけないじゃん、他の転生者は騙されてるだけ」

……俺はこいつを殴って良い筈だ。

というか目の前にいたら確実に殴っている。

「ふふっそんなに怒らないでよ、新たな人……生？…を遅れるんだからさ」

「まて、今の間とか何故疑問系なのかとか」

「質問は受け付けないよ」

「……………」

嗚呼、拒否権は無いのか、最悪だな。

「さて、ではチート…数に制限は付けないけど強力な物を選んだらバランスを取るために不用チートも付いていくから」

……地味に嫌だな。

王の財宝を選んだら欠点が開けないとかだったら笑えない。

慎重に、確実に役立ちなお必ず発動するチートを……。

「決めた、ゴッドハンドを一日の終わりにストックされるようにしてくれ、そして出来るなら世界最強の強靭な肉体を」

先ずは生き残る。

能力というより体質に近いゴッドハンドと完全に体質な後付け、後は解析の能力も欲しいがそれは欠点がどうなるか解らんからな。今はこれで良い、生き残れるなら充分だ。

「おっけ、ならゴッドハンドに対する反チートは実際に十二の難業を成さねば発現せずに、強靱な肉体に対する反チートはウツカリE Xとトジツ娘属性E X、迷子属性E X、生まれの悪さぐらいで良いかな、行ってらっしゃい」

……oh……

文句をいう間も無く意識は闇に落ちていった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9631z/>

金獅子転生人生録

2011年12月30日00時47分発行